

《能登半島地震》被災した障害者に支援を 上州水土舎 (群馬・富岡市)が商業施設で募金活動

能登半島地震を受け、群馬県富岡市を中心に障害福祉サービス事業を展開する社会福祉法人「上州水土舎」（同市後賀、金谷透理事長）の施設利用者と職員が、被災した障害者や関係者を支援しようと募金活動を始めた。同市や甘楽町の商業施設で買い物客らに協力を呼びかけている。2月8日まで。

施設利用者や関係者らは16日、同市富岡のJAファーマーズ富岡で買い物客に「募金をしています。よろしくお願ひします」などと声をかけて、チラシを配った。火曜は同所、金、土曜は甘楽町小幡のこんにやくパークで手分けして活動する。

施設利用者らは2019年、石川県輪島市や富山県氷見市を旅行し、伝統芸能の見学や施設間交流などをした。今回の地震発生後に施設利用者でつくる自治会などで話し合い、世話になった人々を助けたいと支援を決めた。

同法人は04年の中越地震や11年の東日本大震災でも、被災した障害者施設や法人を支援してきた。金谷理事長は「社会に助けられているからこそ、誰かが困っていたら支援することの大切さをみんな感じている」と話した。

義援金以外にも、同法人の通所施設で作ったジャム1000個を、同県の障害者施設20カ所に送る予定。



買い物客らに募金を呼びかける上州水土舎の関係者=16日、JAファーマーズ富岡©上毛新聞社